

・・・もし千葉市が給料収入500万円の家庭だったら・・・

市の財政と家庭の家計ではしくみが違いますが、分かりやすくするために、千葉市の平成22年度一般会計予算を家計簿に置き換えてみました。



≪ ちはな家の家計簿 ≫



収入		支出	
給料 (市税)	500万円	食費 (人件費)	174万円
パート収入 (使用料・手数料など)	164万円	生活費 (物件費・補助費など)	257万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	243万円	医療費 (扶助費)	217万円
貯金の取り崩しなど (繰入金)	14万円	自宅の修理代 (維持補修費)	23万円
借入金 (市債)	134万円	車・土地の購入代 (普通建設事業費)	99万円
合計	1,055万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金など)	107万円
		借入金の返済 (公債費)	177万円
		貯金 (積立金)	1万円
		合計	1,055万円

※借入金及び貯金 (H20年度末現在)

借入金の残高	2,488万円
(市債・債務負担行為残高)	
貯金の残高	36万円
(基金残高)	

収入は、給料とパート収入、親からの仕送りなどで合わせて907万円です。それに対して支出は、食費や生活費で431万円、車や土地の購入代で99万円、その他増え続ける医療費や借入金の返済など、合計で1,055万円もかかります。足りない分は、借入金や貯金の取り崩しなどでなんとかやりくりしています。

限られた収入を大切に、医療・介護・子育て・教育・経済の活性化といった、真に必要な事業に最優先で予算を配分しました。